

# 校長室からのお知らせ

10月30日 NO.18

岸和田市立山直北小学校  
校長 尾野武志

## 修学旅行

明日10月31日（金）と明後日11月1日（土）の一泊二日で、6年生の修学旅行が予定されています。行き先は、三重県と滋賀県になります。三重県ではスペイン村と鳥羽水族館でのグループ活動、滋賀県ではたぬき村での信楽焼絵付け体験と昨年度までとは、少しコースを変更して企画しています。子どもたちにとって最高の思い出になるように、引率職員一同が力を尽くして子どもたちを見守りたいと思います。

さて、保護者のみなさまは小学校の修学旅行を覚えておられますか。交通手段や訪れた場所、宿泊した旅館やホテル、昼食に夕食に朝食、家族用のお土産や自分のためのお土産など、記憶に残っておられますか。私にしては、とても珍しいことですが、伊勢の修学旅行の思い出は少しだけ残っています。

尼崎市の小学校に通っていましたので、JRではなく国鉄（正式な名称は日本国有鉄道です）で尼崎駅から鶴橋駅まで行き、鶴橋駅で近鉄（同じく近畿日本鉄道株式会社になります）に乗り換えて鳥羽駅まで修学旅行専用列車の「あおぞら号」で向かったと思います（少し記憶が曖昧です）。名前は出てきませんが、二見浦（ふたみがうら）近くの旅館に泊まりました。伊勢神宮（内宮も外宮も参拝しています）にブラジル丸（多分お昼ご飯でカレーを食べたと思います）、ミキモト真珠島（アコヤ貝から真珠を取り出す作業の見学をしたような気がします）に夫婦岩（朝の散歩で見に行った際に、お賽銭として海に向かって10円玉を投げて学年主任の男性の先生に怒られたことは間違いないです）などを回っています。家族に赤福餅と母に300円程度の真珠（本物ではないと思います）のブローチを買ったことは覚えていますが、自分用に何を買ったかは思い出せません。

ただ、旅行に行くこと、それもクラスのみんなで泊まりに行くことが嬉しかったこと、「絶対に寝らへんわ。」と言いながら2番目か3番目に寝ていたこと、起きてからトイレ（大きい方です）に行くのが恥ずかしくて心配だったことなどは、45年前の懐かしい記憶です。6年生の子どもたちには、50年後でも鮮明に思い出せる貴重な一泊二日になることを願っています。

# 校長室からのお知らせ

11月11日 NO.19

岸和田市立山直北小学校  
校長 尾野武志

## こっちにおいて？あっちに行け？

手のひらを下に向けて、親指以外の指をそろえて動かすと日本では「こっちにおいて」の仕草になりますが、海外では反対の意味になり犬を追い払うように「あっちに行け」ってされたと不快な思いをさせることになるそうです。また、「もう十分です」や「止まって」など、ストップの意思を示すために手のひらを広げて相手に向けるのは多くの国で共通していますが、一部の国では相手を侮辱する仕草であったり、「あなたとはこれ以上話したくはありません」の意思表示になったりするそうです。

さらに、国によっては「左手は不浄の手」と考えるため、左手で物を渡したり食事をしたり、握手をしたりはNGとなるそうです。

そのほかにも、「手のひらで頭をなでる⇒頭は神聖なもので魂が宿る場所と考えられているので頭に触れるのはNG」や「人差し指と親指で丸を作るOKサイン⇒（役立たず）や（価値がない）、性的に侮辱する意味になることもあるのでNG」、「親指を立てる（いいね！）のポーズ⇒（くそくらえ！）的な相手を侮辱する意味になることもあるのでNG」など、日本ではまったく問題のない仕草が海外ではトラブルの原因になることもあるようです。

ただし、これらの仕草が相手を侮辱したり不愉快な気分にさせたりすると知らずにしてしまった場合、それぞれの仕草の日本での意味や意図を丁寧に説明すれば誤解を解くことができる可能性はあります。

しかしながら、外国人にしてはいけないと知っていて、ふざけたり軽い気持ちやノリで行ったりした相手を侮辱する仕草は、決して許される行為ではありません。テレビや映画の影響を受けて、子どもたち同士が深く考えずに「立てた親指を下に向けての仕草」や「手の甲を相手に向けて中指を立てる仕草」をしている姿を見ることがあります。見かけければ教職員は指導していますが、子どもたちの心に響いているとは言えない状況です。

そこで、10月下旬に講師をお招きし、教職員の研修を実施しました。今後、全児童を対象にした国際理解教育を実施する予定です。ご家庭でも、「人に気持ちに寄り添える」ことについて考えていただければ、幸いです。

# 校長室からのお知らせ

11月27日 NO.20

岸和田市立山直北小学校  
校長 尾野武志

## 嫉妬と shit

前号に引き続き、国際理解教育についてお伝えしたいと思います。日本語の「嫉妬」は、英語の「shit」に間違われる可能性があります。「shit」は、日本語の「くだらないもの」、「糞便」、「最低なこと」、「嘘」、「厄介事」の意味があるようで、とても下品なワードの一つと考えらえています。うっかり使ってしまうと、相手に不快感を与え、注意を受けることもあるそうです。

また、コーヒーや濃いお茶を飲んだ時に「苦っ」と言ってしまうと、英語圏の人には「nigger」に聞こえ、場所やタイミングによっては逮捕されることもあるようです。「nigger」は、黒人に対する差別用語で日本ハムファイターズの新庄剛志監督が、メジャーリーガー時代に「このコーヒー、苦っ」と口にして、黒人のチームメートに誤解されたことがあるそうです。

60歳が迫ってきた私が時々飲みたくなる「カルピス」ですが、英語圏の方には「cow piss(牛のおしっこ)」に聞こえるそうです。そのため、「Do you like drink Calpis」と聞くと嫌な顔をされることになるそうです。英語圏では、「カルピス」ではなく「カルピコ (Calpico)」として販売されることが多いようです。

唐突に日本語で、「明日（あす）ですが・・・」などと話し始めると、英語圏の方はびっくりされることもあるようです。「明日（あす）」は「ass（尻の穴）」とよく似た発音になるため、気を付けたい表現になるそうです。

日本語で「きれい」と言ってしまうと、タイでは相手を怒らせる可能性が高いそうです。日本語の「きれい」は、タイでは全く反対の「汚い」や「ブサイク」の意味になるので、気を付けた方がいいそうです。

子どもたちに、NGと考えられる仕草や日本語をすべて覚えるように伝えるつもりはありません。ただ、山直北小学校の子どもたちには、世界中の人々と仲良く寄り添いながら、国際社会で活躍してほしいと願っています。そのためには、それぞれの国の文化や習慣などを少しでも理解し、互いを尊重できる素敵なお大人になるための努力を惜しまないでほしいと思います。これまで日本から一歩も出たことのない私が偉そうにいうのは、気が引けますが。

# 校長室からのお知らせ

12月16日 NO.21

岸和田市立山直北小学校  
校長 尾野武志

## 九九の秘密

今、2年生の子どもたちが算数の九九に取り組んでいます。ただ単に、何度も何度も子どもたちに繰り返させて九九づけ（トイレのドアに貼る用の九九表も作っていました）した過去の私の指導とは全く違い、きちんとした目的＜基礎学力、九九の習熟を図り、児童の意欲を高める＞と＜縦割り活動を通して、低学年と高学年の関わりをもつ＞をかけた山北の取り組みに、感動と反省をしています。3年生から6年生の子どもたちが2年生の九九を聞く役割を担っていて、ほのぼのとした雰囲気の中で九九を唱える声が聞こえてくるのは嬉しい限りです。

実は合格した子どもに貼るシールをこっそり購入し、ざくざくに紛れて2年生の教室で九九を聞く役割をさせていただいています。そのような中で、改めて九九の表を見直すと、58歳にして初めて気づいたことがあります。

9の段は、9・18・27・36・45・54・63・72・81と答えが並びます。最初の9を除いて両端から見ていくと、18と81、27と72、36と63、45と54と一の位と十の位が逆さまになっていることに驚きました。みなさん、知っておられましたか。

また、1の位だけを見ていくと、9・8・7・6・5・4・3・2・1になっています。さらに、1の位と十の位を足すと（9⇒0+9=9、18⇒1+8=9、27⇒2+7=9・・・81⇒1+8=9）答えはどれも9になります。

他の段では見られない9の段だけの特徴だと思いますが、後半になればなるほど九九習得の熱意も冷めてしまい、覚えるのに時間がかかるてしまうのも9の段の特徴だと思っています。しかしながら、九九を覚えておくことは、これから学んでいく算数や数学での必要不可欠なスキルになりますので、2年生以上の子どもたちには、完璧にマスターしていくほしいと思っています。

ちなみに私は、7の段と相性が悪いようで、7を正しく「しち」とは言えず、「7×1=1（ひちいちがひち）」で30年以上の教員生活を送ってきました。私が担任だった2年生の教え子のみなさん、ごめんなさい。